

# 学校施設再生計画に基づく小中学校に係る事業に関する実績及び予定一覧【平成26年度～平成29年度\_暫定版】

◎ 実績評価欄の見方:「A」は、おおむね計画通りの実施及び実施予定、「B」は、計画を一部実施(今後は通常の保全業務で対応可能)、「C」は、計画を一部実施(次の改修等時期までに未実施部分の対策が必要)、「D」は、未実施

(単位:千円)

No	名称	今期の事業概要	築後年数 H30.4月 時点	第1期計画期間						期間内 事業費合計	実績評価	事業の実施状況	事業の実施段階での課題	今後の課題等	
				H26	H27	H28	H29	H30	H31						
1	谷津小学校	建替	校舎 53 体育館 57	学校施設再生計画	45,000	63,000	100,000	123,000	1,167,000	2,585,000	4,083,000	A	学校規模が想定をかなり上回る見込みとなったことから、対応策の検討に時間を要した。その結果、計画が1年延伸。	平成30年度に工事発注済み。	安全確保と教育環境を維持しながらの着実な事業の実施。
				実績及び予定	21,498	16,148	47,739	74,469	554,934	2,777,281	3,492,069				
2	大久保小学校	建替	校舎 53 体育館 59	学校施設再生計画			51,000		120,000	684,000	855,000	D	建替手法や敷地条件などの課題解決に向けた検討に時間を要したことから実施時期を延伸し検討作業中である。	平成30年度は関係者の合意形成に向けワークショップを開催しており、その結果を踏まえ早期の事業化をめざす。	改築が寿命化かの結論を出し、早期の事業化をめざすとともに、建て替え時のグラウンド確保が必要。
				実績及び予定					検討		0				
3	大久保東小学校	改修 (トイレ)	校舎 55 体育館 47	学校施設再生計画	15,000	149,000	149,000				313,000	C	建築費の高騰により、計画事業費とのかい離が大きく、設計のみに留め、改善要望の大きいトイレ改修のみを実施。	国の交付金が耐震補強工事に優先的に配分されたため、財源確保ができなかった。	建築後50年を越えていることから、第2期以降に大規模改修を実施するのか、建替、長寿命化に取り組むのかを検討する必要がある。
				実績及び予定	101,186						101,186				
4	袖ヶ浦西小学校	改修	校舎 55 体育館 45	学校施設再生計画	34,000	201,000	201,000				436,000	A	工事費の増加、国の交付金の不採択などにより、計画を2年延伸し、事業を実施。	老朽化が進んでいるため、工事内容が多岐にわたり、3年間で事業完了が出来なかった。また、事業費が想定以上に過大となったことから、工事内容の見直しが行われなかった。	適切な維持保全が必要。
				実績及び予定	24,389	13,770	207,490	179,994	276,282		701,925				
5	東習志野小学校	改修	校舎 49 体育館 47	学校施設再生計画		23,000	215,000	215,000			453,000	B	工事費の増加、国の交付金の不採択などにより、計画を2年延伸し、事業を実施中。事業費が大幅に増加した。	老朽化が進んでいるため、工事内容が多岐にわたり、3年間で事業完了が出来なかった。また、事業費が想定以上に過大となったことから、工事内容の見直しが避けられなかった。	適切な維持保全が必要。
				実績及び予定		25,999	88,052	296,020	227,574		637,645				
6	屋敷小学校	改修 (トイレ)	校舎 46 体育館 45	学校施設再生計画			20,000	187,000	187,000		394,000	C	大規模改修の事業費の確保が困難な見込から、児童の生活環境を改善するためトイレ改修を先行実施中。	29年度から工事を実施。	建築後50年に近づき、改修時期も迫っていることから、第2期以降に大規模改修を実施するのか、建替、長寿命化に取り組むのかを検討する必要がある。
				実績及び予定			4,253	96,330	81,249		181,832				
7	藤崎小学校	改修 (トイレ)	校舎 44 体育館 42	学校施設再生計画			15,000	139,000	139,000		293,000	C	大規模改修の事業費の確保が困難な見込から、児童の生活環境を改善するためトイレ改修を先行実施中。	30年度から工事を実施。	建築後50年に近づき、改修時期も迫っていることから、第2期以降に大規模改修を実施するのか、建替、長寿命化に取り組むのかを検討する必要がある。
				実績及び予定			4,485	96,250		100,735					
8	向山小学校	改修 (トイレ)	校舎 43 体育館 40	学校施設再生計画			17,000	161,000	161,000		339,000	C	大規模改修の事業費の確保が困難な見込から、児童の生活環境を改善するためトイレ改修を先行実施中。	30年度から工事を実施。	建築後50年に近づき、改修時期も迫っていることから、第2期以降に大規模改修を実施するのか、建替、長寿命化に取り組むのかを検討する必要がある。
				実績及び予定			4,485	92,664		97,149					
9	谷津南小学校	改修	校舎 33 体育 33	学校施設再生計画				13,000	125,000		138,000	A	工事の設計を1年延長し、2カ年で実施し、トイレ改修を含む大規模改修工事を実施予定。	30年度から31年度にかけ設計を実施。設計と並行して、31年度から工事を実施予定。	適切な維持保全が必要。
				実績及び予定					13,576		13,576				
10	第一中学校	改修 (トイレ)	校舎 47 体育館 46	学校施設再生計画			22,000	209,000	209,000		440,000	C	大規模改修の事業費の確保が困難な見込から、児童の生活環境を改善するためトイレ改修を先行実施中。	29年度から工事を実施。	建築後50年に近づき、改修時期も迫っていることから、第2期以降に大規模改修を実施するのか、建替、長寿命化に取り組むのかを検討する必要がある。
				実績及び予定			3,588	60,558	89,890		154,036				
11	第二中学校 (体育館を先行)	建替	H29 新設	学校施設再生計画	33,000	32,000	184,000	430,000		33,000	712,000	A	計画期間を1年延長し建替事業を実施中。再生計画の事業費に比べ、大幅に事業費が増加した。	設計段階で、建築工事以外の調整事項が数多く発生し、調整等に時間を要した。	次に控える校舎建替事業の検討。
				実績及び予定	21,251	31,885	67,892	823,163	170,503		1,114,694				
12	第四中学校	改修	校舎 50 体育館 41	学校施設再生計画		26,000	248,000	248,000			522,000	B	計画期間を1年延長し、限られた事業費の中でトイレ改修を優先し、残った財源で一部の大規模改修を実施中。	27年度から工事を実施。	残された改修項目についての実施の有無、実施時期について検討が必要。
				実績及び予定		22,945	78,177	310,889	312,070		724,081				
13	第六中学校	改修 (トイレ)	校舎 40 体育館 39	学校施設再生計画					25,000	236,000	261,000	C	大規模改修の事業費の確保が困難な見込から、児童の生活環境を改善するためトイレ改修を先行実施中。	30年度から工事を実施。	50年改修時期も迫っていることから、第2期以降に大規模改修を実施するのか、建替、長寿命化に取り組むのかを検討する必要がある。
				実績及び予定					3,650	84,456					
14	耐震補強 非構造部材改修	耐震 補強等	-	学校施設再生計画	1,028,000	138,000					1,166,000	A	計画期間が1年延長となったが、平成28年度に小・中すべての耐震改修が完了した	国の補助が優先的に配分されたため、財源確保ができた。	適切な維持保全が必要。
				実績及び予定	853,849	205,073	24,926				1,083,648				

※金額は基本設計・実施設計、工事監理、本体工事(解体・外構を含む)等とし、原則として関連工事費は除く。

※計画額は当初の計画額

※平成30年度の事業費は予算額。また、平成31年度に金額があるものは継続費等、事業費が明確な場合に計上。